

3 諏訪地域の発展方向

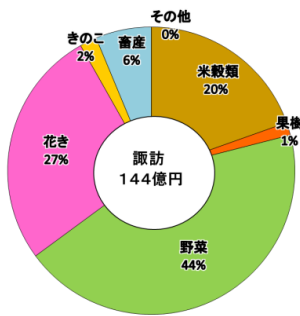
[管内市町村名] 岡谷市・諏訪市・茅野市
下諏訪町・富士見町・原村

高い標高、高い品質、高い志が育む諏訪の農業

農業・農村の特徴

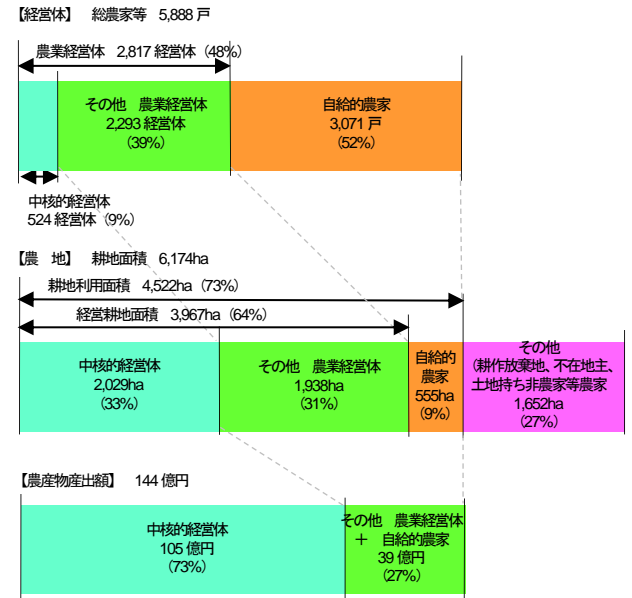
諏訪湖周辺の標高 760m 地帯から八ヶ岳西麓の標高 1200m 地帯まで耕地を有し、豊かな自然環境と冷涼な気象条件を活かした農業が営まれています。

八ヶ岳西麓地帯は国内屈指の高原野菜産地であり、花きも県内トップクラスの産地です。また、諏訪湖周辺の水稻や、中山間地域での特産品目等、立地に適した農業生産が行われています。



農産物産出額 (H27 年産(2015 年産))

【平成 27 年】 (2015 農林業センサスより推計)



めざす姿

I 次代へつなぐ諏訪農業

- 新規就農者が確実に定着し、地域の核となる中核的経営体を中心に多様な担い手が、効率的で収益性の高い農業を展開しています。
- 八ヶ岳西麓地域では、高原野菜や花きが安定して生産されており、高品質な農産物の産地として市場等の実需者から信頼されています。諏訪湖周辺や中山間地域においても、それぞれの立地条件に適した特徴的な農業が営まれています。
- 諏訪湖などの豊かな自然環境の保全に配慮した「環境にやさしい農業」の取組が継続して行われており、消費者からの理解と共感が得られています。

II 消費者とつながる諏訪の「食」

- 食育等を通じて諏訪農業への関心が高まり、農産物直売所を中心にした地消地産が進んでいます。観光や商工との連携、6次産業化の進展により、諏訪の農産物や「おいしい信州ふード」への理解が深まり、新たな販路が開拓されています。

III 人と人がつながる諏訪の農村

- 農業生産活動が活発に行われ、美しい農村に人々が集っています。観光と連携した農村景観・地域資源の活用が進み、魅力ある「諏訪」のコミュニティが創造されています。

地域の特徴的な取組

- 諏訪ブランド農産物を支える担い手の育成と品目の生産安定を推進します。
- 諏訪湖の創生につながる環境にやさしい農業の更なる取組を推進します。

施策の展開方向

I 次代へつなぐ諏訪農業

重点取組 1

新規就農者の確実な定着と多様な担い手の中核的経営体への誘導

諏訪地域の肥沃な農地と冷涼な気候に魅力を感じ、多くの新規参入者が見られる中で、受入れ態勢の充実と確実な定着、資質向上のための支援が必要です。一方で、農業者の高齢化が進行する中で、定着した担い手を含めて企業的な経営を志向する中核的経営体の確保・育成が求められています。

また、地域の農業振興に貢献するリーダーの育成や、農村女性や集落営農組織の取り組みを支援し、諏訪地域全体の農業振興を図ることが重要です。

達成指標	現状 (2016年)	目標 (2022年)
□ 中核的経営体数	519 経営体	569 経営体
□ 45歳未満の新規就農者 (単年度)	13 人	14 人

施策の展開方向

- 人・農地プランの充実及び関連支援策の推進による担い手の育成
- 就農支援連絡会を中心とした新規就農者の確保・育成策の推進
- 諏訪ブランド農産物の生産を支える担い手育成体制の確立
- 企業的な経営を志向する中核的経営体への誘導
- 女性の農業経営や地域活動への参画促進



【キク青年部の技術研修会】

重点取組 2

諏訪ブランド農産物の安定生産による稼ぐ園芸農業の推進

八ヶ岳西麓を中心に、冷涼な気象条件を活かしたセルリーなどの高原野菜や、キク、カーネーション、トルコギキョウ等の多品目の花きが生産されており、諏訪ブランドとして市場等の実需者から高い評価を得ています。夏秋期の園芸産地として安定生産が求められており、技術向上や施設整備等を進めるとともに、効率的な農業生産を行うために不可欠となる生産基盤の整備が重要です。

達成指標	現状 (2016年)	目標 (2022年)
□セルリーの出荷数量	9,000 t	9,000 t
□トルコギキョウの出荷本数	3,040 千本	3,300 千本
□重要な用排水施設の整備延長	36.8 km	41.1 km

施策の展開方向

- 高温期における野菜の生産安定対策の推進
- ブロッコリーの生産拡大と作柄安定対策
- トルコギキョウ等の花き品質の高位平準化
- 中核的経営体育成と連携した農地の条件整備
- 基幹的農業水利施設の計画的な整備、更新と適切な保全管理



【セルリー栽培ほ場】

重点取組 3

諏訪地域の立地条件に適した特徴的な農畜産物の生産振興

諏訪湖周辺の平坦な水田地帯から中山間地域まで、地域の立地条件に適した農業が営まれ、特徴的な農畜産物の生産が行われています。諏訪湖周辺の稲作や集落営農組織におけるそば等の高品質安定生産、消費者に近い立地を活かした果樹類の生産や中山間地域等における特産品目の生産振興が求められており、酪農を中心とした畜産経営の安定化も重要です。

達成指標	現状 (2016年)	目標 (2022年)
□ 一等米比率の向上	95 %	98 %
□ 個別施設計画（農業水利施設）の策定延長	0 km	75.2 km

施策の展開方向

- 水稻・そば等の土地利用型作物の生産安定と品質向上
- りんご等果樹類の生産性向上と高品質化
- 中山間地域等の立地条件に適した地域特産品目の生産振興
- 畜産経営の安定化支援と安全安心な生産を行う体制の整備
- 中山間地域における老朽化が著しい農業用施設の整備・更新と保全管理



【信州の伝統野菜 '糸萱かぼちゃ'】

重点取組 4

諏訪湖の創生につながる環境にやさしい農業の更なる推進

消費者が求める食の安全・安心に対応した農産物生産はもとより、生産現場における適正な農業生産活動への取組が求められています。

また、諏訪地域では関係者が一丸となって諏訪湖の創生に取組んでおり、環境にやさしい農業の取組に対する消費者の理解と共感を得ることが重要です。

達成指標	現状 (2016年)	目標 (2022年)
□ 信州の環境にやさしい農産物認証取組面積	80 ha	100 ha
□ 国際水準GAPの取得件数	1 件	3 件

施策の展開方向

- 輪作体系の活用やオリジナル肥料の導入などによる減肥の取組拡大
- 主要品目を対象とした環境にやさしい病害虫防除技術の確立
- 信州の環境にやさしい農産物認証やエコファーマー等の取得支援
- GAP の実践による持続的な農業生産の実現
- 環境にやさしい農業に対する消費者の理解促進



【専用機を利用した局所施肥】

II 消費者とつながる諏訪の「食」

重点取組 5

諏訪の「食」と「農」をつなぐ地消地産の推進

諏訪の「おいしい信州ふード」を始めとする地元農産物等や伝統食、郷土料理等の食文化に対する理解を深めるため、地消地産を更に進める必要があります。また、児童、生徒に対して諏訪農業や農産物への関心を高めていくことが重要です。

諏訪の農産物の付加価値向上や販路開拓を図るため、他産業との連携や6次産業化の推進が必要です。

達成指標	現状 (2016年)	目標 (2022年)
□ 農産物直売所売上額	17 億円	20 億円
□ 六次産業化法に基づく総合化 事業計画の認定数	7 件	10 件

施策の展開方向

- 児童・生徒への食育・花育による諏訪農業への理解促進
- 消費者ニーズに応えた農産物直売所の魅力・資質向上の支援
- 「おいしい信州ふード」を始めとする地元農産物への理解促進
- 他産業との連携による付加価値向上と販路開拓等支援による6次産業化の推進



【温泉朝市での農産物PR】

III 人と人がつながる諏訪の農村

重点取組6

みんなが生き生きと暮らす魅力ある農村づくり

農村の地域コミュニティは、高齢化や人口減少により、地域住民だけでは農地や地域資源の保全を行うことが困難となっています。地域住民が主体となった農村景観や機能等の維持活動や、他産業と連携した農村の魅力活用などの取組を進めることによって、農村の役割について都市住民の理解醸成を図り、訪れたい、暮らしたい「諏訪」を創造することが求められています。

達成指標	現状 (2016年)	目標 (2022年)
□ 集落等が地域ぐるみで取り組む保全活動面積	2,690 ha	2,945 ha
□ 農業用水を利用した小水力発電箇所数	1 箇所	3 箇所
□ 新たに観光資源として活用した農業施設数	0 箇所	2 箇所

施策の展開方向

- 多様な人材の育成による美しい農村環境の維持・創造
- 野生鳥獣被害防止対策の推進
- 農業用水を活用した小水力発電など農村資源の利活用
- 農・工・観の連携による農業・農村体験の機会創出
- 歴史ある農業施設等の観光資源への活用
- 農ある暮らしを求める移住希望者等に対する支援



【堰を活用した小水力発電】